

障害者福祉事業所への 「新型コロナウイルスの影響について」の アンケート集計

認定特定非営利活動法人トウギャザー



- 【主旨・目的】 コロナ禍における福祉事業所の状況を把握。関係機関と情報を共有し、今後の「障がい者支援活動」に活用するため
【期 間】 2020年5月18日～2020年6月10日
【実施事業所】 認定NPO法人トゥギャザー
【対 象】 全国の障害者福祉事業所・関係中間支援団体
【調査方法】 アンケートフォームのURLをメール配信
【集計方法】 各設問ごとに回答数を集計・自由入力項目は、原文のまま取りまとめ（事業所名が特定される場合のみ変更）

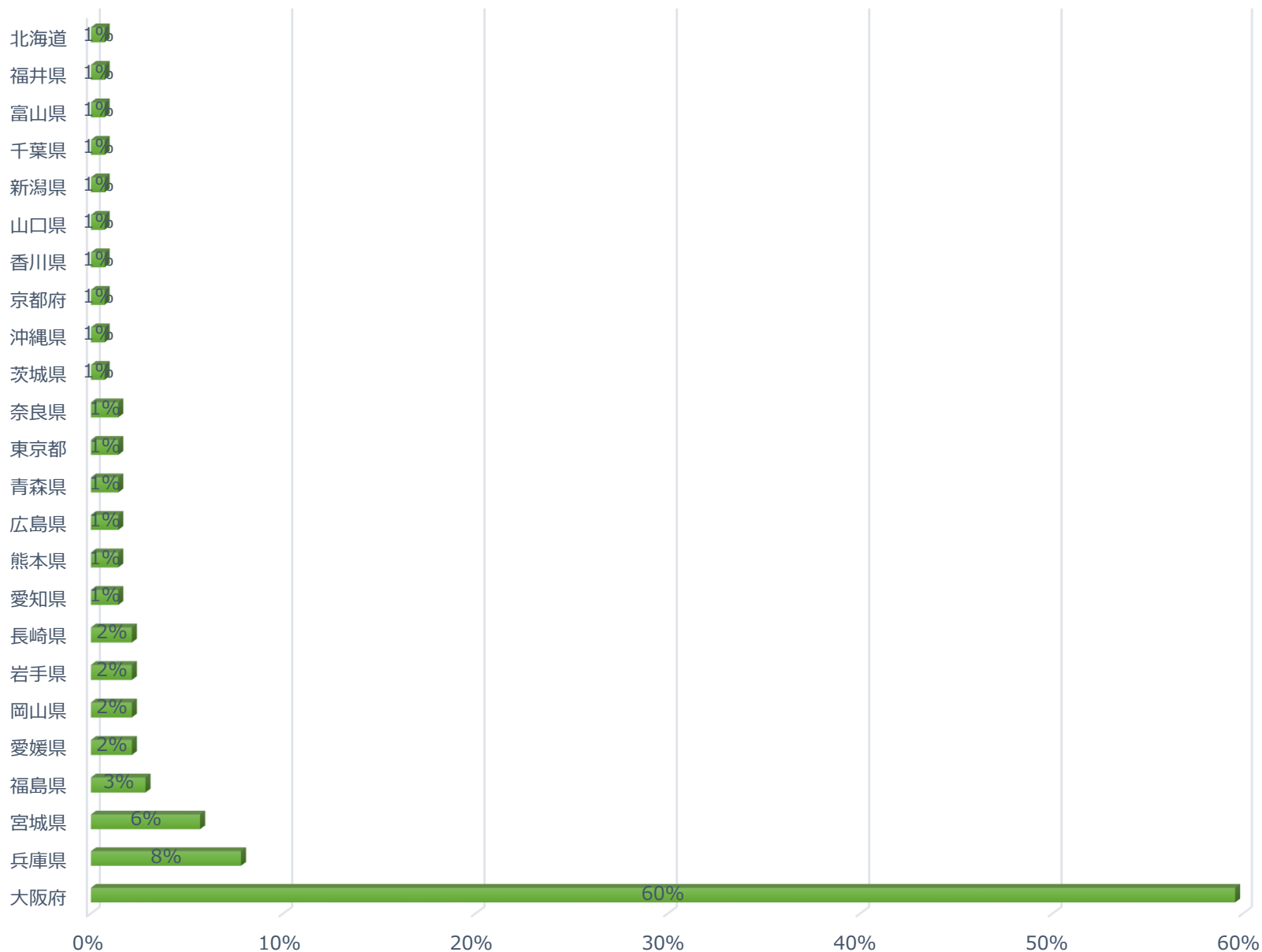
アンケートフォーム（設問）

- Q1-1 事業所名をお教えてください。
Q1-2 事業所のある都道府県をお教えてください。
Q1-3 個別にお話させていただく場合もありますので、メールアドレスをお教えてください。
Q2-1 コロナの影響が出た、または影響が出ると感じたのはいつごろからですか？当てはまるもの全てをお選びください。
Q2-2 事業所の開所日についてコロナの影響はありましたか。あてはまるもの全てをお選びください。
Q2-3 職員(パートを含む)、ボランティアの勤務体系についてコロナの影響により変わった点はありましたか。当てはまるもの全てをお選びください。
Q2-4 事業所の運営体制についてコロナの影響はあったか。あてはまるもの全てをお選びください。
Q3-1 収入について、前年の同時期(3-5月)に比べ、以下の選択肢の中から、最も近いものを1つ選んでください。
Q3-2 前問の収入に関する設問で「②影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて増えた」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。
Q3-3 前問の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて減った」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。
Q4-1 事業について以下の選択肢の中から、最も近いものを1つ選んでください。
Q4-2 前問の事業への影響に関する設問で「②サービス・事業量が増えた」を回答された場合のみ その理由をお教えてください。
Q4-3 前問の事業への影響に関する設問で「③サービス・事業量が減った」を回答された場合のみ その理由をお教えてください。
Q5-1 感染拡大防止のために行っていることはありますか？当てはまるもの全てをお選びください。
Q6-1 今後の影響について以下の選択肢の中から、最も近いものを1つ選んでください。
Q6-2 前問の今後の影響に関する設問で「①影響はないと思われる」を回答された場合のみ、その理由をお教えてください
Q6-3 前問の今後の影響に関する設問で「②影響があると思われる」を回答された場合のみ、以下から当てはまるものを全てお選びください。
Q6-4 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。
Q6-5 設問Q6-1の今後の影響に関する設問で「②影響があると思われる」を回答された場合のみ、影響はいつから出るとおられますか？
Q7-1 今後、サービス・事業を行う上でどのような要望がありますか？当てはまるもの全てをお選びください。
Q7-2 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。
Q7-3 授産収入について、前年の同時期(3-5月)に比べ、以下の選択肢の中から、最も近いものを1つ選んでください。
Q7-4 前問の収入に関する設問で「②影響を受け前年の同時期に比べて増えた」を回答された場合のみ、増加分は約%かお教えてください。
Q7-5 設問Q7-3で「②影響を受け前年の同時期に比べて増えた」を回答された場合のみ、その理由をこちらにご記入ください。
Q7-6 設問Q7-3の収入に関する設問で③影響を受け前年の同時期に比べて減ったを回答された場合のみ、減少分は約%かお教えてください。
Q7-7 設問Q7-3の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期に比べて減った」を回答された場合のみ、その理由をこちらにご記入ください。
Q8-1 設問Q7-1でもお聞きしましたが、売上等の減少の影響を受け、より緊急(~3ヶ月以内)に必要なとされているものがありましたらお教えてください。
Q8-2 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。必要な支援等が具体的にある場合はこちらにご記入ください。
Q9-1 設問Q7-1でもお聞きしましたが、今回のコロナを受け、事業所として今後検討していきたいものがありましたらお教えてください。
Q9-2 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。必要な支援等が具体的にある場合はこちらにご記入ください。
Q10 事業所の状況や行っている対策、困っている事、具体的に行ってほしい要望など、なんでもご記入ください。

Q1-2 事業所のある都道府県をお教えてください。

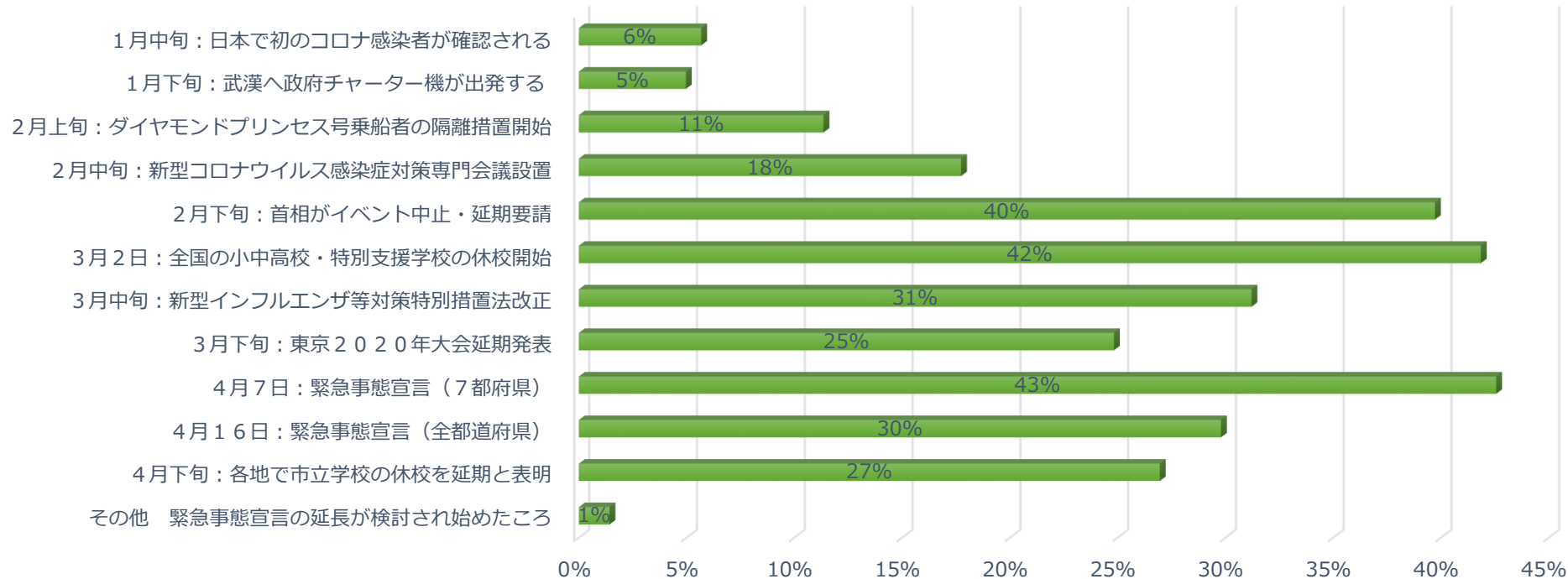
大阪府	(84)	60%
兵庫県	(11)	8%
宮城県	(8)	6%
福島県	(4)	3%
愛媛県	(3)	2%
岡山県	(3)	2%
岩手県	(3)	2%
長崎県	(3)	2%
愛知県	(2)	1%
熊本県	(2)	1%
広島県	(2)	1%
青森県	(2)	1%
東京都	(2)	1%
奈良県	(2)	1%
茨城県	(1)	1%
沖縄県	(1)	1%
京都府	(1)	1%
香川県	(1)	1%
山口県	(1)	1%
新潟県	(1)	1%
千葉県	(1)	1%
富山県	(1)	1%
福井県	(1)	1%
北海道	(1)	1%

計
24都道府県
141事業所



Q2-1 コロナの影響が出た、または影響が出ると感じたのはいつごろからですか？ 当てはまるもの全てをお選びください。

- 1月下旬：武漢へ政府チャーター機が出発する（7）5%
- 1月中旬：日本で初のコロナ感染者が確認される（8）6%
- 2月下旬：首相がイベント中止・延期要請（56）40%
- 2月上旬：ダイヤモンドプリンセス号乗船者の隔離措置開始（16）11%
- 2月中旬：新型コロナウイルス感染症対策専門会議設置（25）18%
- 3月2日：全国の小中高校・特別支援学校の休校開始（59）42%
- 3月下旬：東京2020年大会延期発表（35）25%
- 3月中旬：新型インフルエンザ等対策特別措置法改正（44）31%
- 4月16日：緊急事態宣言【全都道府県】（42）30%
- 4月7日：緊急事態宣言【7都府県】（60）43%
- 4月下旬：各地で市立学校の休校を延期と表明（38）27%
- その他 緊急事態宣言の延長が検討され始めたころ（2）1%



Q2-2 事業所の開所日についてコロナの影響はありましたか。 あてはまるもの全てをお選びください。

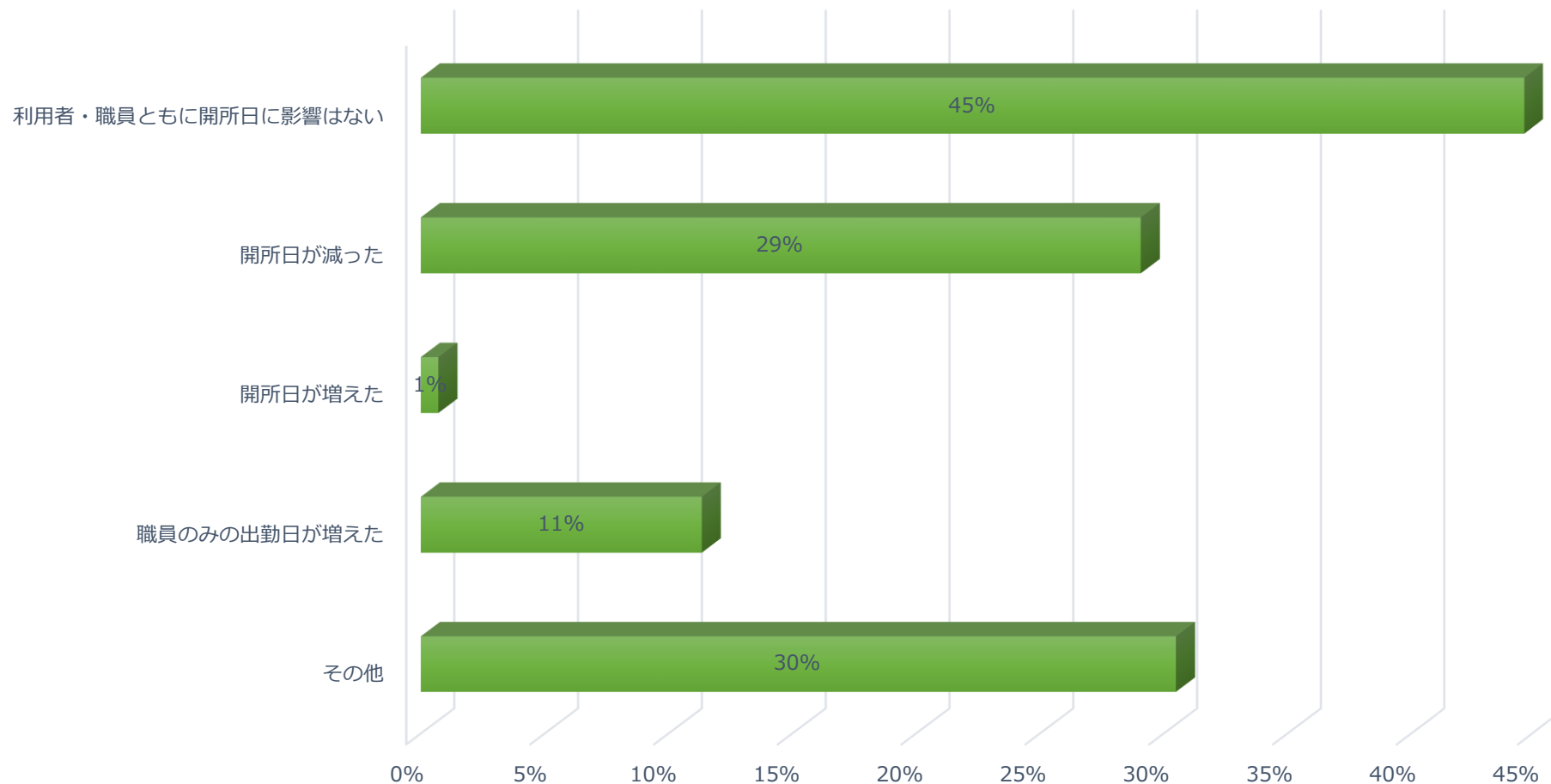
利用者・職員ともに開所日に影響はない (63) 45%

開所日が減った (41) 29%

開所日が増えた (1) 1%

職員のみのお勤日が増えた (16) 11%

その他 (43) 30%



Q2-3 職員(パートを含む)、ボランティアの勤務体系についてコロナの影響により変わった点がありましたか。当てはまるもの全てをお選びください。

影響はない (29) 21%

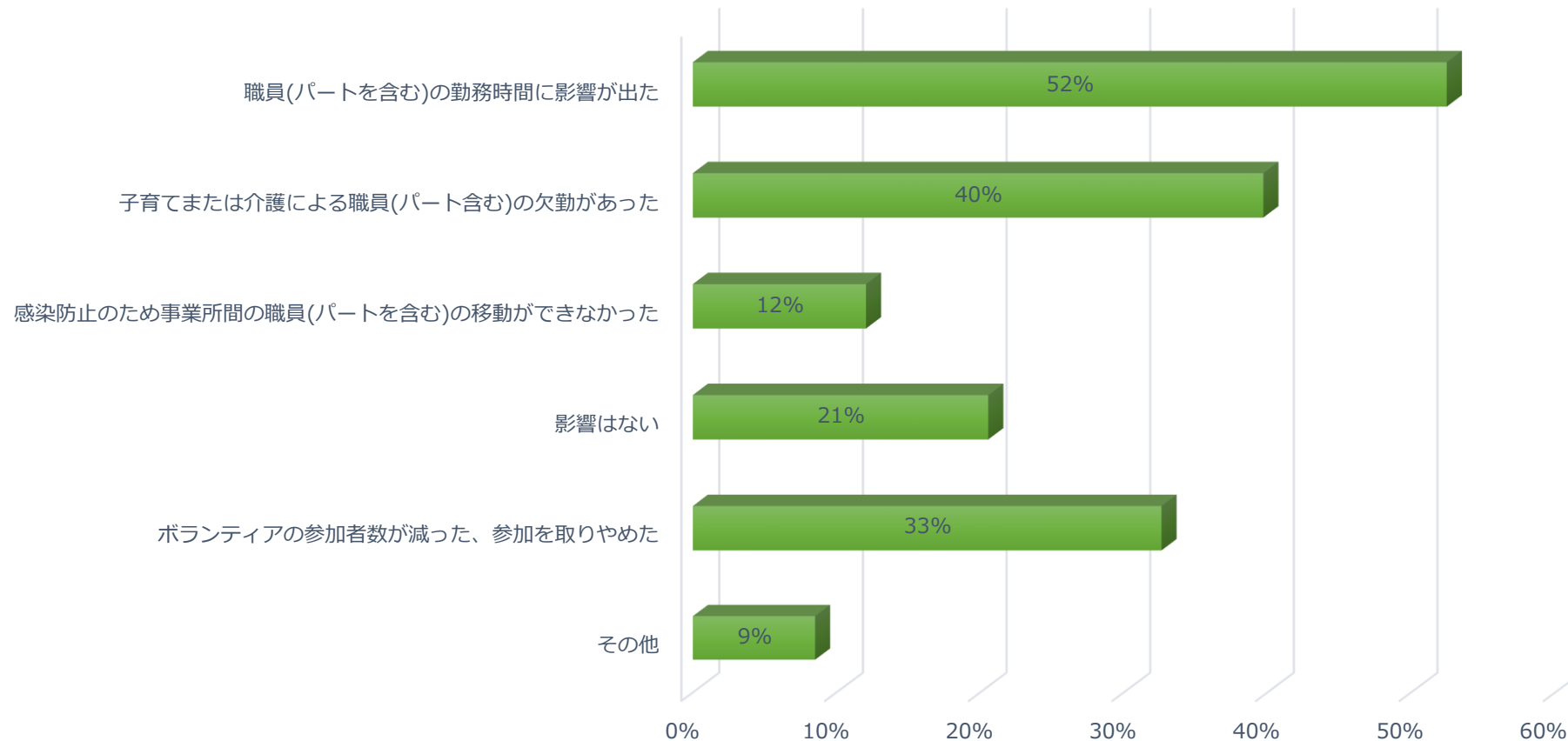
子育てまたは介護による職員(パート含む)の欠勤があった (56) 40%

職員(パートを含む)の勤務時間に影響が出た (74) 52%

感染防止のため事業所間の職員(パートを含む)の移動ができなかった (17) 12%

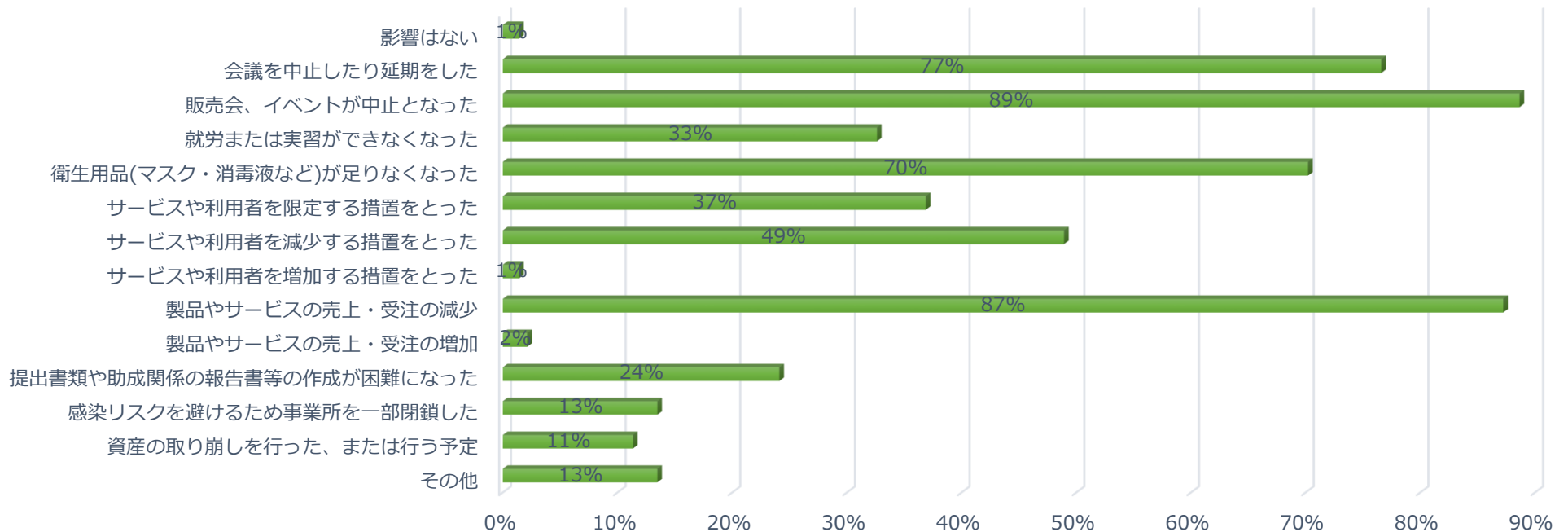
ボランティアの参加者数が減った、参加を取りやめた (46) 33%

その他 (12) 9%



Q2-4 事業所の運営体制についてコロナの影響はあったか。あてはまるもの全てをお選びください。

- 影響はない (2) 1%
- 会議を中止したり延期をした (108) 77%
- 販売会、イベントが中止となった (125) 89%
- 就労または実習ができなくなった (46) 33%
- 衛生用品(マスク・消毒液など)が足りなくなった (99) 70%
- サービスや利用者を限定する措置をとった (52) 37%
- サービスや利用者を減少する措置をとった (69) 49%
- サービスや利用者を増加する措置をとった (2) 1%
- 製品やサービスの売上・受注の減少 (123) 87%
- 製品やサービスの売上・受注の増加 (3) 2%
- 提出書類や助成関係の報告書等の作成が困難になった (34) 24%
- 感染リスクを避けるため事業所を一部閉鎖した (19) 13%
- 資産の取り崩しを行った、または行う予定 (16) 11%
- その他 (19) 13%

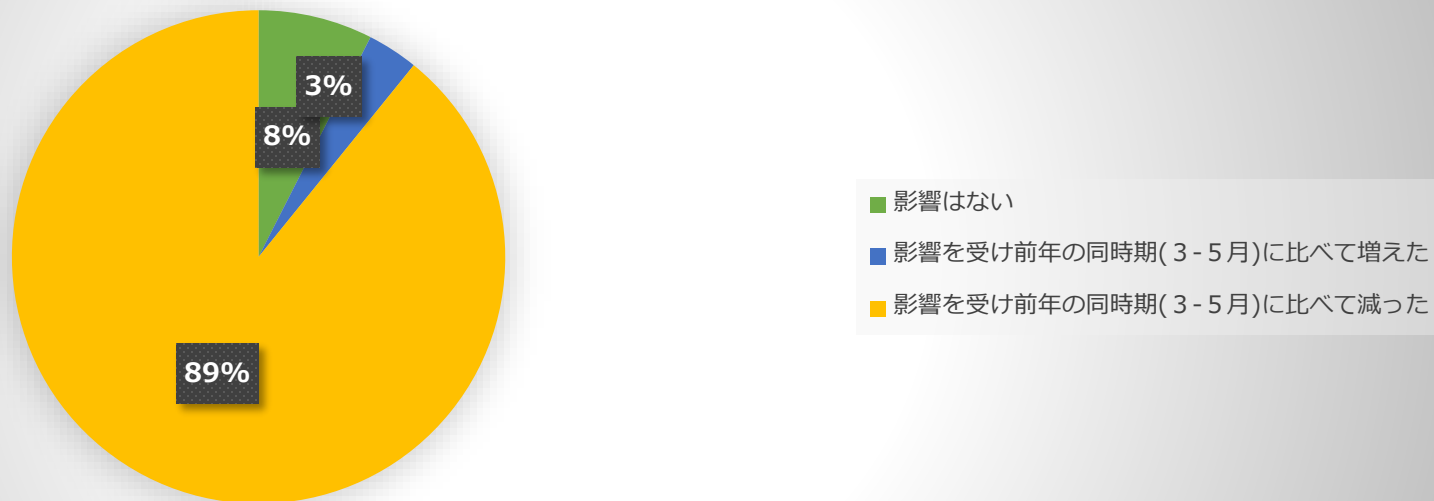


Q3-1 収入について、前年の同時期(3-5月)に比べ、以下の選択肢の中から最も近いものを1つ選んでください。

影響はない (9) 8%

影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて増えた (4) 3%

影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて減った (107) 89%



Q3-2 前問の収入に関する設問で「②影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて増えた」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。

- ▶ 去年1月から事業が開始したため
- ▶ 在宅支援ができない利用者がいたので請求につながらなかった
- ▶ 昨年度にグループホームを増設したため、利用者が増えている。
- ▶ 精神の利用者が多く通所する作業所の為、在宅サービスの提供を始めると電話でのサポートを希望する利用者が増えたため。
(普段は休み)

Q3-3 前問の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて減った」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。

- ▶開所日を減らしたため・自粛以外に、コロナの影響で利用者に不安感が強まり欠席が増えた
- ▶1日の利用者数を減らしていたため。
- ▶3密を避けるため、利用人数の制限を行った為
- ▶イベントが中止なりキャンセルがでた。受注先の企業が仕事激減
- ▶イベントが中止になったこと
- ▶イベントの減少による利用日の減少、臨時休所日の設定による利用日の減少
- ▶イベントの中止により、バザー収益がなくなった。また、結婚式やイベントの記念品の受注がキャンセルになった。
- ▶イベントや移動販売での売上が全くなかった。
- ▶イベント中止、外部への販売自粛で販売機会の減少
- ▶イベント等の中止で販売出来なくなった為
- ▶自主製品を作る利用者さんが在宅支援になった。
- ▶カフェの営業の停止が大きい。(登録者には、ほかの部門への振替利用や在宅支援を提案している。) 自宅待機者(在宅支援者)が増えたことによりトータルでの利用者数が減っている。
- ▶カフェ店舗の営業自粛・外部販売の中止
- ▶コロナウィルス感染拡大防止に関して対面販売自粛等の措置を行ったため
- ▶コロナによる利用者の通所自粛と旅館・ホテルのタオル加工販売75%減少減額
- ▶コロナの影響でバザー・販売等が激減 内職の仕事も会社そのものの仕事激減の為、内職仕事も若干減った。また、利用者通所自粛もあり、どの作業もいつもの様には進まない。
- ▶コロナの影響で欠席する利用者さんが数名いる
- ▶コロナ感染への不安から通所日を減らしたり完全に休んだ利用者もあった。また高熱により感染の疑いから一定期間休んでいた利用者もあった。
- ▶パン、洋菓子の外販先が1~2割程度にまで減少した。
- ▶ホテルのアメニティグッズの内職を受注していたが緊急事態宣言によりホテルの運営が厳しくなり、受注がなくなりまだ仕事の依頼は現在も入ってこない。
- ▶やむを得ず、通所を控えた利用者に対して、訪問や電話等で状況を伺い支援をした為。
- ▶レトルト食品製造販売はほとんど影響なかったが、飲食店部門は70%の売り上げ減。
- ▶飲食(カフェ)部門やキャンプ場、パークゴルフ場運営の部門で5月いっぱいまで営業自粛をしておりその期間の収入減が大きい。
- ▶飲食店が全滅、イベントが全滅により適正価格で売れるところが0になったから。
- ▶沖縄は観光中心の島なので、来ないとなるとどの業界も厳しい

Q3-3 前問の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて減った」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。

- ▶卸先店舗の休業、イベント販売の中止、受注作業の減少
- ▶稼働日の減少によるもの
- ▶開所日を減らした。パンの販売の中止。
- ▶外部での販売が全て中止となったり、一部の委託販売先が休業したため。
- ▶各種バザー等のイベントが中止され、販売の機会を失った。利用者の自主休所・職員不足で作業が進まなかった。
- ▶学校の休校に伴い、学校給食へパンを納入していたので、売り上げがなくなった。まだ続いている。補填は3月分のみ、4、5月分についての措置がない。イベントの中止により、毎年春に見込んでいた売り上げがない。
- ▶活動が停止になったため、利用料も入ってこないため。
- ▶感染リスクを減らすために自宅待機する利用者が数名いた。
- ▶感染予防のため自宅待機利用者が増え給付費が減少。下請け作業の受注量の激減や自主製品の販売活動自粛により就労支援収入が大幅減。
- ▶緊急事態宣言で企業に販売に3月から行けない
- ▶軽作業の受注が減ったこと バザー等販売のイベントが中止になったこと 施設外作業が中止になったことなど
- ▶高齢者施設にお弁当を届けているが閉鎖や休館のためキャンセルが多くなった
- ▶仕事の受注量が減った、利用者の作業日が自粛の為減った
- ▶施設外就労の一部が出来なくなって工賃になる収入が減った
- ▶施設利用の自粛の利用者さんや複数サービスを利用されている方がサービス利用を1つに限定された
- ▶事業所を一時閉鎖した為
- ▶事業所を閉所したため、メンバーの来所人数が減った。開所しても自粛モードであったため
- ▶自粛期間中、カフェなど閉鎖したため。
- ▶実店舗での売上減少
- ▶主には自主製品の直接販売（対面販売）の機会が激減したため
- ▶取引先の休業により、商品を卸すことができない日が続いた。顧客の流れが変わった。
- ▶取引先の休業や閉店、客足の減少で売り上げ・製造量が減った
- ▶取引先の多くが休業したため
- ▶受託している作業の供給が停止した。
- ▶受託業務の内職が減った
- ▶授産活動の停止、下請けや内職の仕事量の減少と停止
- ▶授産商品の製造・販売する回数の減少。（施設内稼働率・授産売上減少）
- ▶就労会計の減収、コロナの影響で休んだ人の食事提供体制体制加算、送迎加算を請求できずに減収

Q3-3 前問の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて減った」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。

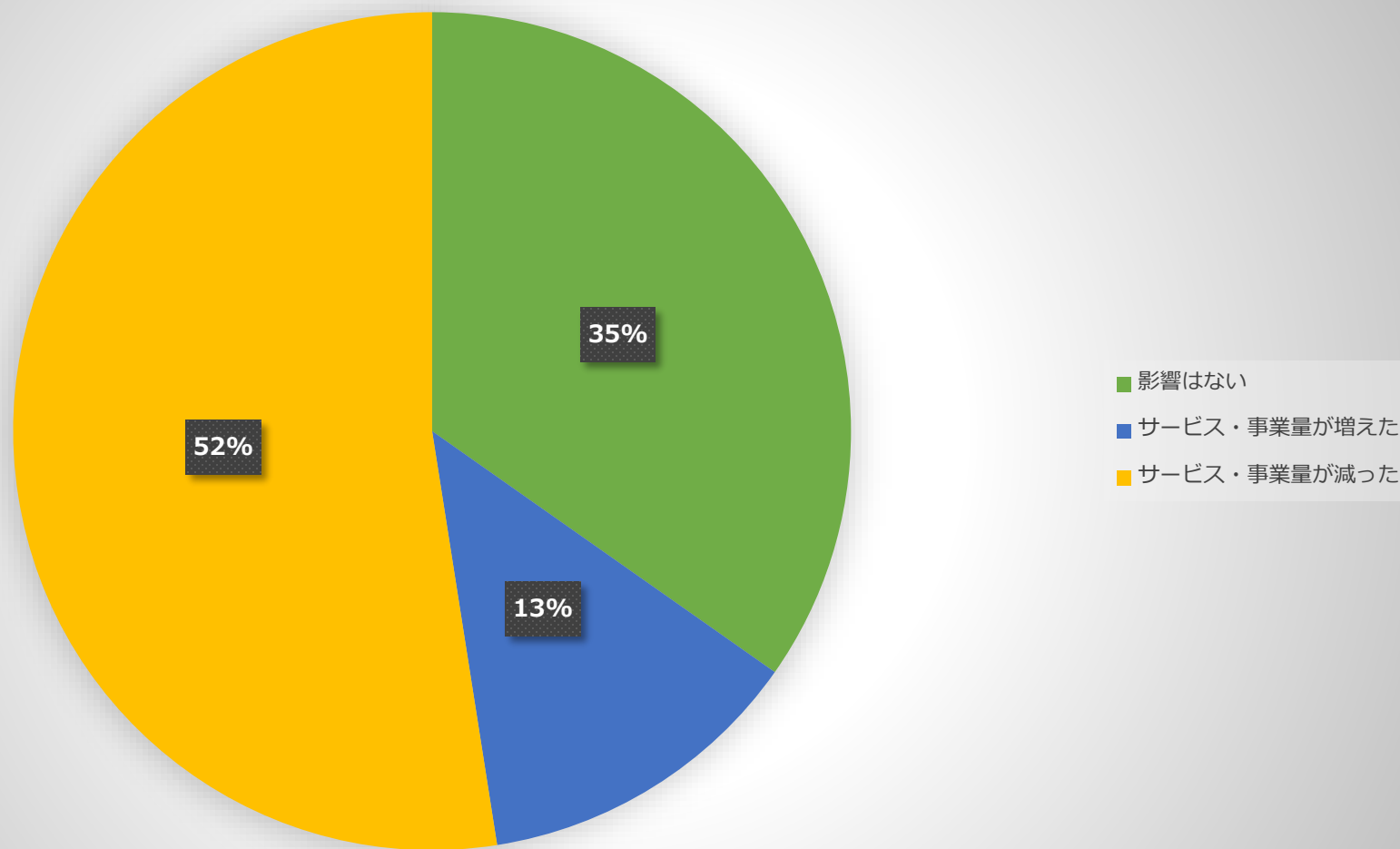
- ▶就労継続B型事業の活動を休止しているため
- ▶集客減少
- ▶商品の卸先が休業となったため受注がゼロ。
- ▶商品の売り先が激減した。
- ▶商品を卸している企業が営業休止となったため
- ▶障害福祉サービス等事業収益では、お休み可能な利用者は利用を控えてもらったため、その結果、利用者実績が減少し、収益が減少した。また、就労支援事業収益では、販売を自粛したため、収益が減少した。
- ▶食品販売の場所がほぼなくなり、収入が減少した（イベントはすべて中止）
- ▶新型コロナ感染を用心して自主的に利用を控える利用者が数名いる
- ▶製菓や食事関係の販売先の減少に伴う、売上げの減少が見られた。
- ▶請負企業の自粛などにより作業量が減った為
- ▶宣言前から、利用者の利用自粛が始まったため、報酬が減った
- ▶通所自粛に伴い、半減した。
- ▶通所自粛の為、報酬減
- ▶通所者が入所する施設（サービス付高齢者住宅）を運営する法人の決定で、外出不可になり、通所不能となった方が2名。また、通所自粛をする方が1名。4月からの新規利用開始を控えたことによって、前年度比較で収入が減る結果となった。
- ▶通所予定の利用者さんが新型コロナウイルス感染症の影響で長期の自粛欠席をされたため
- ▶通所利用者を限定し減少させたため
- ▶店舗の閉店による。
- ▶登所を自粛される利用者については在宅支援を行うことで基本報酬の保証はしてもらえますが、利用者工賃の保証等、自前の出費も増加するため総合的には減収となりそうです。
- ▶内職が減ったため
- ▶年間を通して大きなイベントがこの時期に重なっており、中止となったため。
- ▶売上げの減少
- ▶販売会の減少
- ▶販売会やイベントが中止になったり、内職やポスティングなどの仕事が減った為。
- ▶販売会中止、作業収入の減少
- ▶販売活動の制限により収入が減った
- ▶販売先、卸先が休業された。
- ▶販売店舗の閉所及び縮小

Q3-3 前問の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期(3-5月)に比べて減った」を回答された場合のみ、理由をお教えてください。

- ▶販売等を中止しているため
- ▶併設されている自然食品販売の店を休店することになったため、イベント中止で外販ができない。高齢者施設への販売の自粛など
- ▶平均利用者数の減少 販売、納品の中止
- ▶法人の収入としては、自宅待機をしてもらった分の報酬が得られるかどうか…。事業所の作業収入としては複数の作業受注を一時停止したので、大幅に収益が減った。工賃も減った。
- ▶法人内取引も減少、販売先が休業、店舗の休業の為売り上げが下がっている。
- ▶訪問販売する受け入れ先の減少、イベントの中止、商品取扱い店の営業自粛など
- ▶予防のため長期休んでる利用者がある、製品の販売減少
- ▶利用自粛で電話や訪問で対応を行ったが、連絡を控えてほしいと依頼された方もいたので、若干ではあるが収入は減少した。
- ▶利用者がコロナの報道に敏感になり休むことが多かった（4月末より在宅支援に切り替えた）
- ▶利用者が自主的に休みを取った
- ▶利用者が自粛した期間があったため
- ▶利用者に出勤自粛をお願いした ショートステイ中止
- ▶利用者の減少、生産活動の売上の減少
- ▶利用者の自粛がふえたので、国保連の収入が減。
- ▶利用者の通所自粛と土曜通所の中止
- ▶利用者の方の通所自粛による生産量の低下
- ▶利用者の利用自粛による通所日数の減少
- ▶利用者の利用数は大きく減っていないが、一部発熱による欠席が長くなった分が収入減
- ▶利用者を減少する措置をとったため。
- ▶利用制限・休業を行ったため

Q4-1 事業について以下の選択肢の中から、最も近いものを1つ選んでください。

影響はない (49) 35%
サービス・事業量が増えた (18) 13%
サービス・事業量が減った (74) 52%



Q4-2 前問の事業への影響に関する設問で「②サービス・事業量が増えた」を回答された場合のみ その理由をお教えてください。

- ▶①マスク・食品用アルコール・手袋の確保 ②利用者相談増加による面談時間の確保 ③中止販売先の代替探し
- ▶コロナウィルスの自粛休みの加算対応によるサービス管理業務が大きく増えた。
- ▶コロナ欠席者に毎日電話にて支援する業務が加わったことと、コロナ継続を見越してコロナ欠席の場合の全員の個別支援プログラムを新たに策定した。
- ▶感染拡大防止のための衛生管理
- ▶感染拡大防止の対策、コロナへの不安や恐怖等利用者の精神面への支援
- ▶感染防止策、臨時的措置の提出書類作成、電話や訪問での対応の事業量が増えた
- ▶感染予防のための消毒などの徹底、訪問に切り替えたための計画書の変更
- ▶行政への提出書類の増加
- ▶在宅での支援が可能となり、訪問や電話連絡などの業務が増えた為。
- ▶在宅ワークという新たなかたちでの支援体制が立ち上がった
- ▶在宅ワーク支援で訪問などが増えた。記録などの事務量も増えた。
- ▶在宅支援が加わったこと。また、売り上げ減少に対応し、ネット販売等のあらたな企画を行う等、新型コロナ関連の連絡や物品購入等、日々の業務に新たな業務が加わっている。
- ▶全利用者の体調管理を行うようになり、電話や記録の時間が急激に増え、開所時間外の記録作成や電話のやり取りに時間がかかるようになった為。
- ▶送迎、消毒、在宅支援
- ▶通所できない利用者は、在宅ワークになったので仕事量が増えた。
- ▶売上が減少したため、新規作業の開拓、営業での負担が増えた。
- ▶利用者は隔日通所にしたため、在宅支援が必要になった（訪問、電話、昼食のみ支援等）公共交通機関利用者についても現在は送迎対応にしている

Q4-3 前問の事業への影響に関する設問で「③サービス・事業量が減った」を回答された場合のみ その理由をお教えてください。

- ▶内職が減少し、作業収入が昨年度に比べ半減した・バザー等のイベント出店が軒並み中止となり売り上げが減少した
- ▶3密を避けるために、午前・午後に分かれての通所にした。作業所内でのレクリエーションの中止。
- ▶3密を避けるため利用者の来所日を減らした
- ▶B型作業所における売上の減少。(委託先からの受注の減少も含む)
- ▶GW期間前後は感染リスク軽減のために送迎バス利用自粛の要請、自宅待機をお願いをするなどを対応した。
- ▶ウィルス感染拡大防止の為、一部行事活動を中止又は延期。
- ▶カフェ店舗の営業自粛・外部販売の中止
- ▶コロナで自宅で自粛される利用者が増え、欠席になったため
- ▶コロナによる利用者の通所自粛と旅館・ホテルのタオル加工販売75%減少減額
- ▶コロナ禍の影響で、イベント、来客数が減少したため
- ▶ショップの閉店による。
- ▶バザーなどでの出店が無くなった。通常の生産活動の時間も減らした。また利用者にも利用時間や日数を減らすよう要請した。などから、直接支援にかかる量は時間的には減った。
- ▶バザー等の減少・中止
- ▶パン製造を一時休業したため
- ▶レストランも運営しており、自粛をした為、売り上げ減
- ▶委託の作業減
- ▶移転に伴い、利用者が減った。
- ▶会社が休みになった為
- ▶外出行事の一時中止や日帰り旅行の中止
- ▶外出制限があり、活動の種類が減ったため。
- ▶外部からの受け入れを制限したため
- ▶外部へ販売に行く機会が減ったり、利用者の休みがあったため、業務量は減りました。
- ▶外部販売や、老人ホームやデイサービスへの清掃業務を自粛したため
- ▶活動が停止になったため。
- ▶感染防止の為、利用者数を制限した。
- ▶感染防止の観点から、サービス提供従事者にも外出自粛をお願いしたため
- ▶感染予防のための欠席者が増えた。
- ▶休園措置や分散利用としたため
- ▶緊急事態宣言が出る以前から通所を自粛する方が多かった為

Q4-3 前問の事業への影響に関する設問で「③サービス・事業量が減った」を回答された場合のみ その理由をお教えてください。

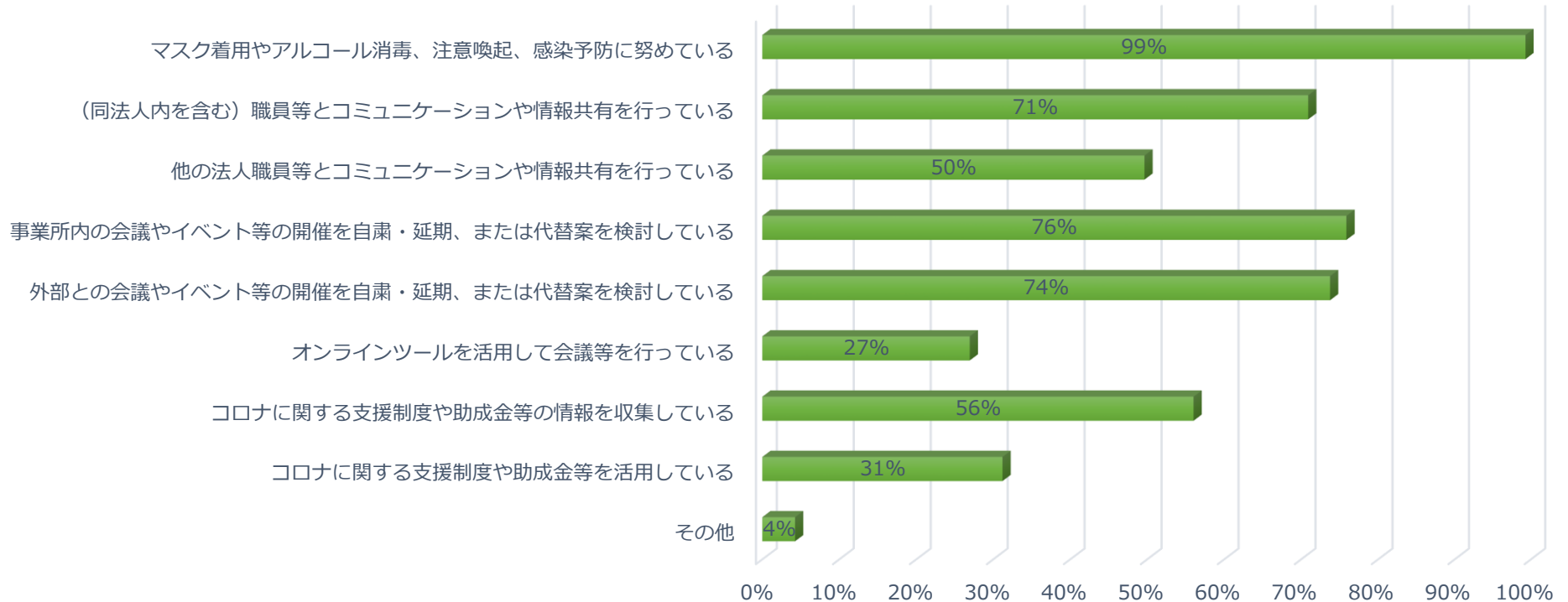
- ▶ 緊急事態宣言で年1回のイベントが全て中止
- ▶ 近隣の中学校の教員が感染したことで4月27日より5月15日まで閉所昼食時の三密を回避するために、4月20日より6月1日まで午前午後に分かれての通所にした
- ▶ 研修会ができない
- ▶ 県からの委託事業の予定がどうなるかわからない。企業からの作業依頼もほぼ来ない
- ▶ 元々通所日だった利用者さんが自宅待機時、他事業所のヘルパーさんを使った。（同法人内の別事業）ガイドヘルパーの利用減少。
- ▶ 交通機関利用の利用者が自宅待機で通所しない、体調不良利用者の2週間の自宅待機などで訓練等給費の補助金が下がった
- ▶ 行事、イベントの中止により、準備等の事業量が減った
- ▶ 最近になってコロナ経済不況の余波で、メインの作業資材がストップしたため。
- ▶ 施設利用の自粛の利用者さんや複数サービスを利用されている方がサービス利用を1つに限定された
- ▶ 事業所を一時閉鎖した為
- ▶ 事業所を閉めているため、仕込み作業や仕事ができなくなった。
- ▶ 時間短縮営業を採用し、1日の活動時間を減らした。
- ▶ 受注が減って、作業提供できる種類が減った。
- ▶ 他者との接触を減らすために、開所時間の一部短縮等を行ったため。
- ▶ 通所時間短縮と通所自粛を呼びかけた（利用者の半数以上が自粛した）。
- ▶ 通所自粛をお願いし、自宅での支援に切り換えたが、サービス量は減った。
- ▶ 通所利用者が減った為
- ▶ 通所利用者を限定し減少させたため
- ▶ 内職の受注先の活動が止まったため
- ▶ 売上げが減った分、みんなの作業量は減った。在宅ワークの人がいるなど、事務量は増えた。
- ▶ 売上げ減を補う為、やむを得ず時給給与の就労時間を減らした。8時間⇒6時間
- ▶ 発熱のある利用者・職員の出勤を見合わせて頂く期間が通常より長くなったため
- ▶ 販売会の中止や内職の商品が届かないなどの影響がでた
- ▶ 販売店舗の閉所、縮小の為、製造の事業も減少
- ▶ 普段の仕事に対する作業量は減ったが、自宅待機者への日2回の電話連絡が増え、全体的には作業量は若干減った。
- ▶ 法人としてはショートステイが事業運営に影響があった。
- ▶ 密を避けるため、入浴をやめた。食事は時間差にして、ばらばらにしたため、時間が書かざるようになった。

Q4-3 前問の事業への影響に関する設問で「③サービス・事業量が減った」を回答された場合のみ その理由をお教えてください。

- ▶利用のキャンセルなどがあった。
- ▶利用自粛
- ▶利用者が休んでいるため
- ▶利用者さんが減ったので、サービス・事業量も減った。
- ▶利用者さんの作業が減った。飲食店用のお箸の作業が来なくなった。
- ▶利用者の通所自粛で通所利用者が減ったため
- ▶利用者の登所自粛や職員の在宅勤務設定により、活動量が減るため。
- ▶利用者の方の通所自粛、欠席が増えただ
- ▶利用者の来所数が減った。
- ▶利用者へのお休みの要請を行った結果、利用者の実績が減少したため。
- ▶利用者自粛に伴う利用減
- ▶利用者自粛に伴う利用率減…ただし、在宅支援に伴う家族への聞き取り業務は増えた
- ▶利用者自粛のため、サービスは減少したが、自粛に伴う事務的処理は増えた。
- ▶利用者全員に通所の週1回の自粛をお願いした為。実績が減少。
- ▶利用者様の人数を限定したことと、生産活動の減少の為（布マスクのみ需要増）

Q5-1 感染拡大防止のために行っていることはありますか？当てはまるもの全てをお選びください。

- マスク着用やアルコール消毒、注意喚起、感染予防に努めている (140) 99%
- (同法人内を含む) 職員等とコミュニケーションや情報共有を行っている (100) 71%
- 他の法人職員等とコミュニケーションや情報共有を行っている (70) 50%
- 事業所内の会議やイベント等の開催を自粛・延期、または代替案を検討している (107) 76%
- 外部との会議やイベント等の開催を自粛・延期、または代替案を検討している (104) 74%
- オンラインツールを活用して会議等を行っている (38) 27%
- コロナに関する支援制度や助成金等の情報を収集している (79) 56%
- コロナに関する支援制度や助成金等を活用している (44) 31%
- その他 (6) 4%

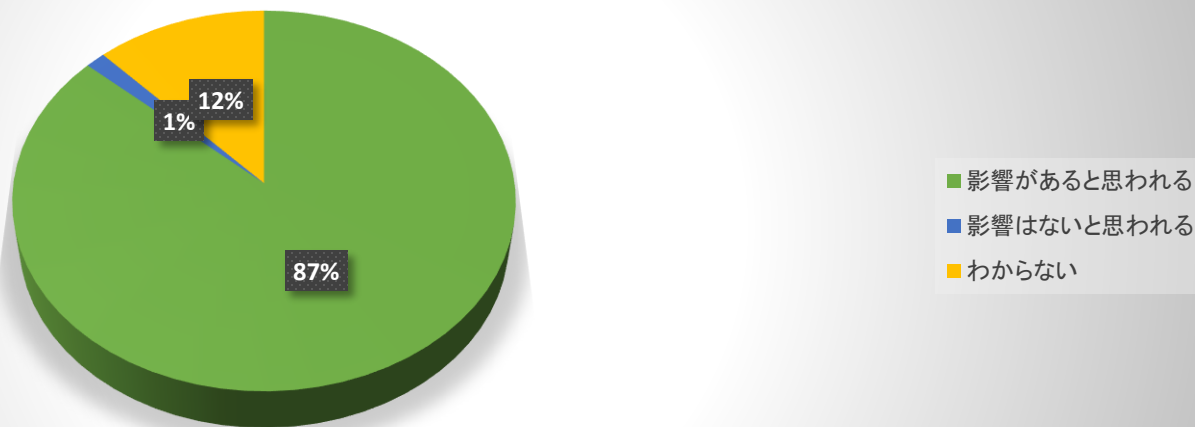


Q6-1 今後の影響について以下の選択肢の中から、最も近いものを1つ選んでください。

影響があると思われる (122) 87%

影響はないと思われる (2) 1%

わからない (17) 12%

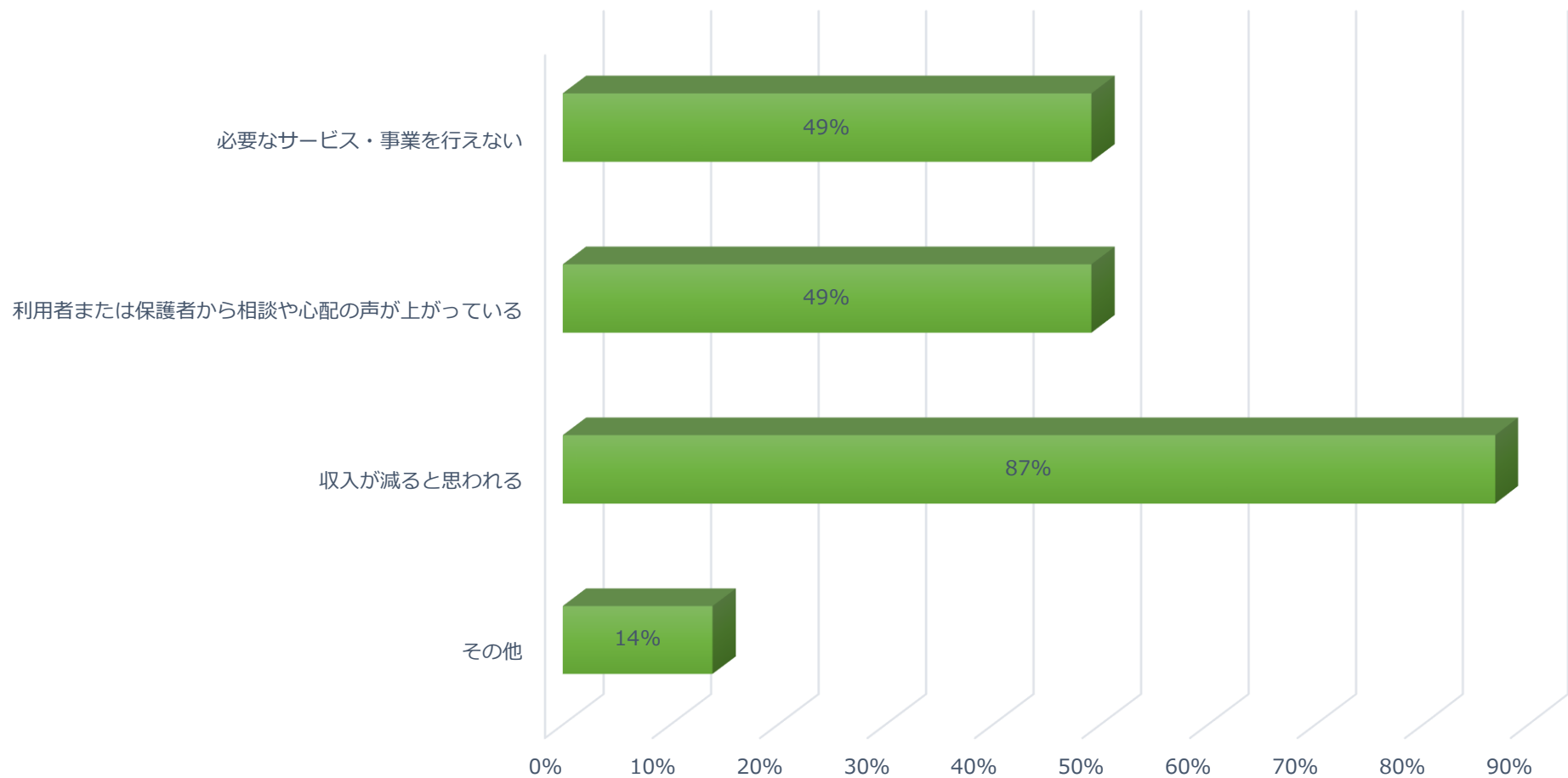


Q6-2 前問の今後の影響に関する設問で「①影響はないと思われる」を回答された場合のみ、その理由をお教えてください

- ▶特に利用者数にも変更はなく、職員数も変化がない為
- ▶日常が戻ってくれば、利用者も来所を開始する予定。感染予防については今までと変わらず継続していく予定。

Q6-3 前問の今後の影響に関する設問で「②影響があると思われる」を回答された場合のみ、以下から当てはまるものを全てお選びください。

必要なサービス・事業を行えない (60) 49%
利用者または保護者から相談や心配の声が上がっている (60) 49%
収入が減ると思われる (106) 87%
その他 (17) 14%

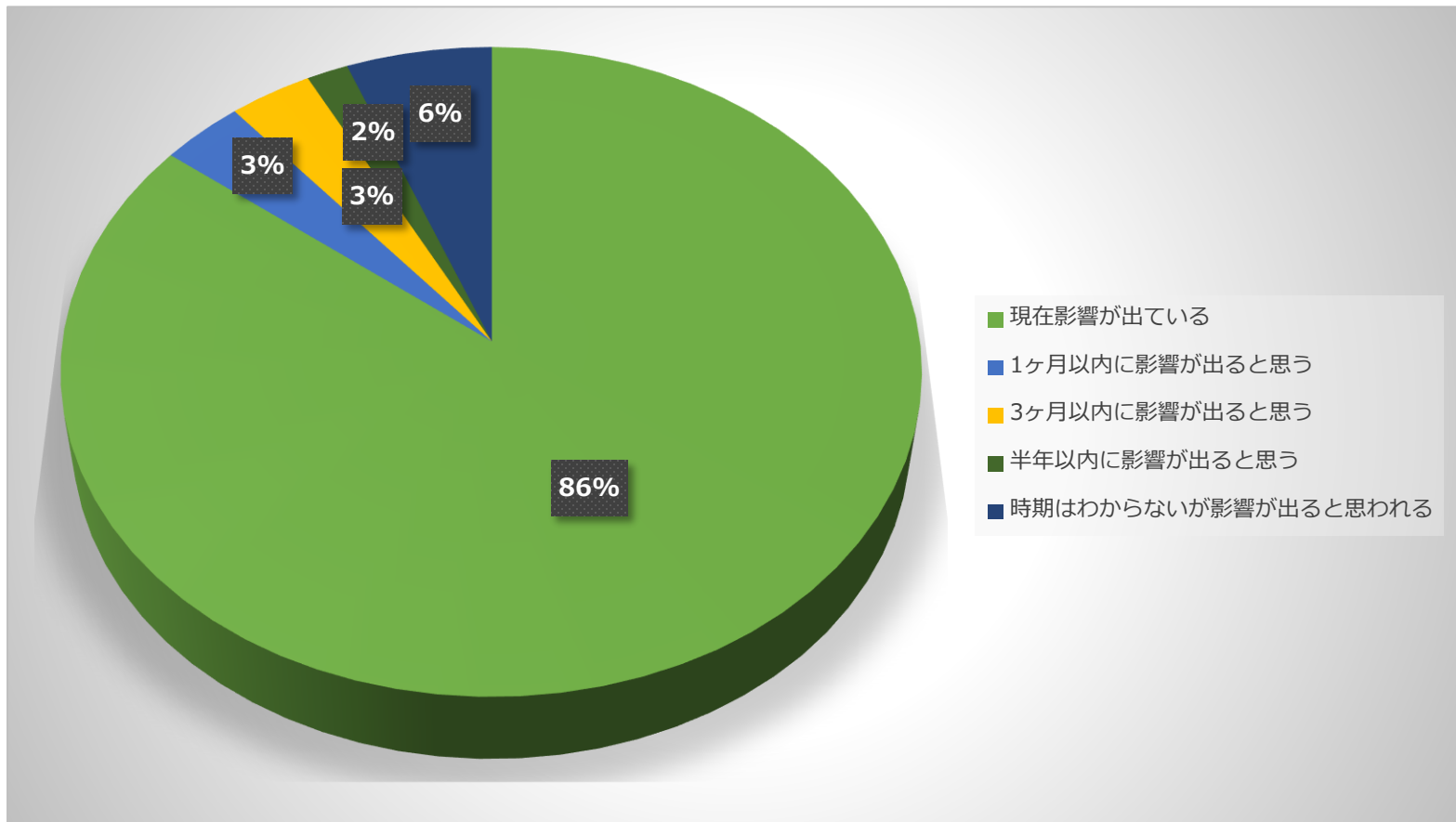


Q6-4 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。

- ▶ コロナ感染防止のために行っているが認知症や知的障がいなどによりなかなかその理解を得られない。利用時間が減少したことによる不満の訴えがある。
- ▶ コロナ前は問い合わせから見学体験へとつながったが、問い合わせからのつながりがほぼなくなっている。新規利用者の増加が見込めない。
- ▶ すべて行事の縮小、中止を検討している。仮に感染者がでた場合に事業者の責任を問う声がすでに上がっている。
- ▶ 夏冬のイベント中止の影響により軽作業が減るか内容が変わる可能性がある。
- ▶ 活動の人数が制限されたり、イベントがなくなる可能性がある。
- ▶ 感染するのが不安で事業所に来たくてもこれない利用者の方がいる
- ▶ 授産活動量の減少によって、利用者の給与の変動が予測される。
- ▶ 授産事業での収入が減ると思われる
- ▶ 授産製品などの販売が出来ないんで収入が減る
- ▶ 新たな利用者の受け入れが進まない
- ▶ 世の中の常識が変わり、それに合ったサービスや事業を考え、実行していかなければならなくなる。
- ▶ 第2波・第3波が来るかもしれない。
- ▶ 同時期に入っていた受注がストップしている為
- ▶ 年間スケジュールや企画の再検討など必要となる。
- ▶ 売上が減れば、利用者の工賃を下げなければならないことも視野に入れなければならない。
- ▶ 売上の回復には、時間がかかりそうなので
- ▶ 販売やイベント等が再開しても以前のように取り組めるわけではないと思うので、販売で売り上げをあげている部分は売り上げの回復が難しいと考えている。
- ▶ 利用時間の短縮について、考えているどこまで戻せるかが難しい。
- ▶ 利用者の授産活動で販売先での販売がいつ安心して利用者と共に販売再開できるのか。工賃・賞与の支払いにどの程度影響が出るのか。

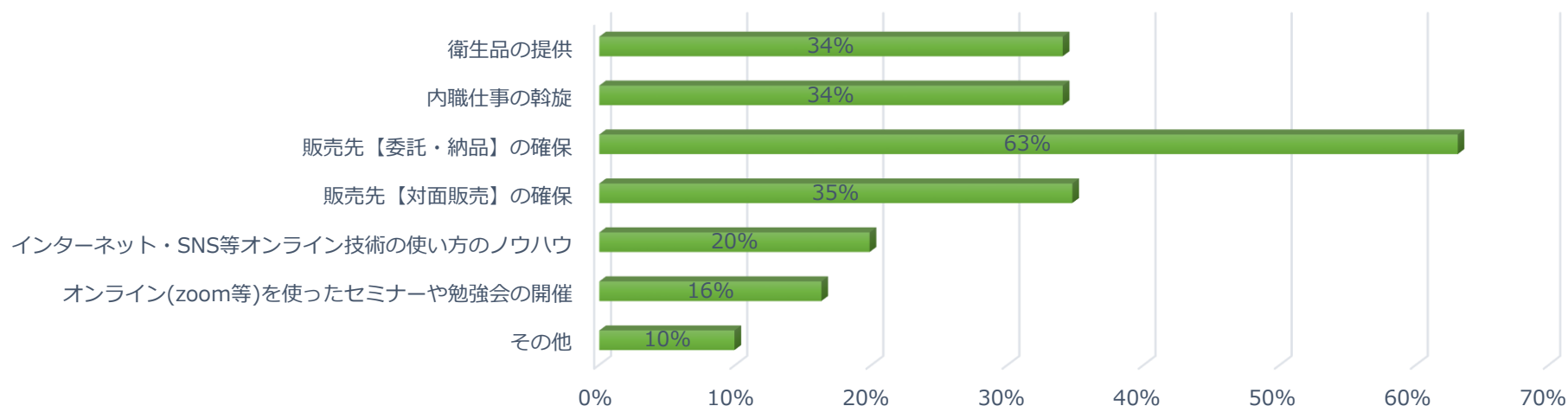
Q6-5 設問Q6-1の今後の影響に関する設問で「②影響があると思われる」を回答された場合のみ、影響はいつから出ると思われますか？最も近いものを1つ選んでください。

- ▶現在影響が出ている（100）85%
- ▶1ヶ月以内に影響が出ると思う（4）3%
- ▶3ヶ月以内に影響が出ると思う（4）3%
- ▶半年以内に影響が出ると思う（2）2%
- ▶時期はわからないが影響が出ると思われる（7）6%



Q7-1 今後、サービス・事業を行う上でどのような要望がありますか？当てはまるもの全てをお選びください

衛生品の提供（48）34%
内職仕事の斡旋（48）34%
販売先【委託・納品】の確保（89）63%
販売先【対面販売】の確保（49）35%
インターネット・SNS等オンライン技術の使い方のノウハウ（28）20%
オンライン(zoom等)を使ったセミナーや勉強会の開催（23）16%
その他（14）10%

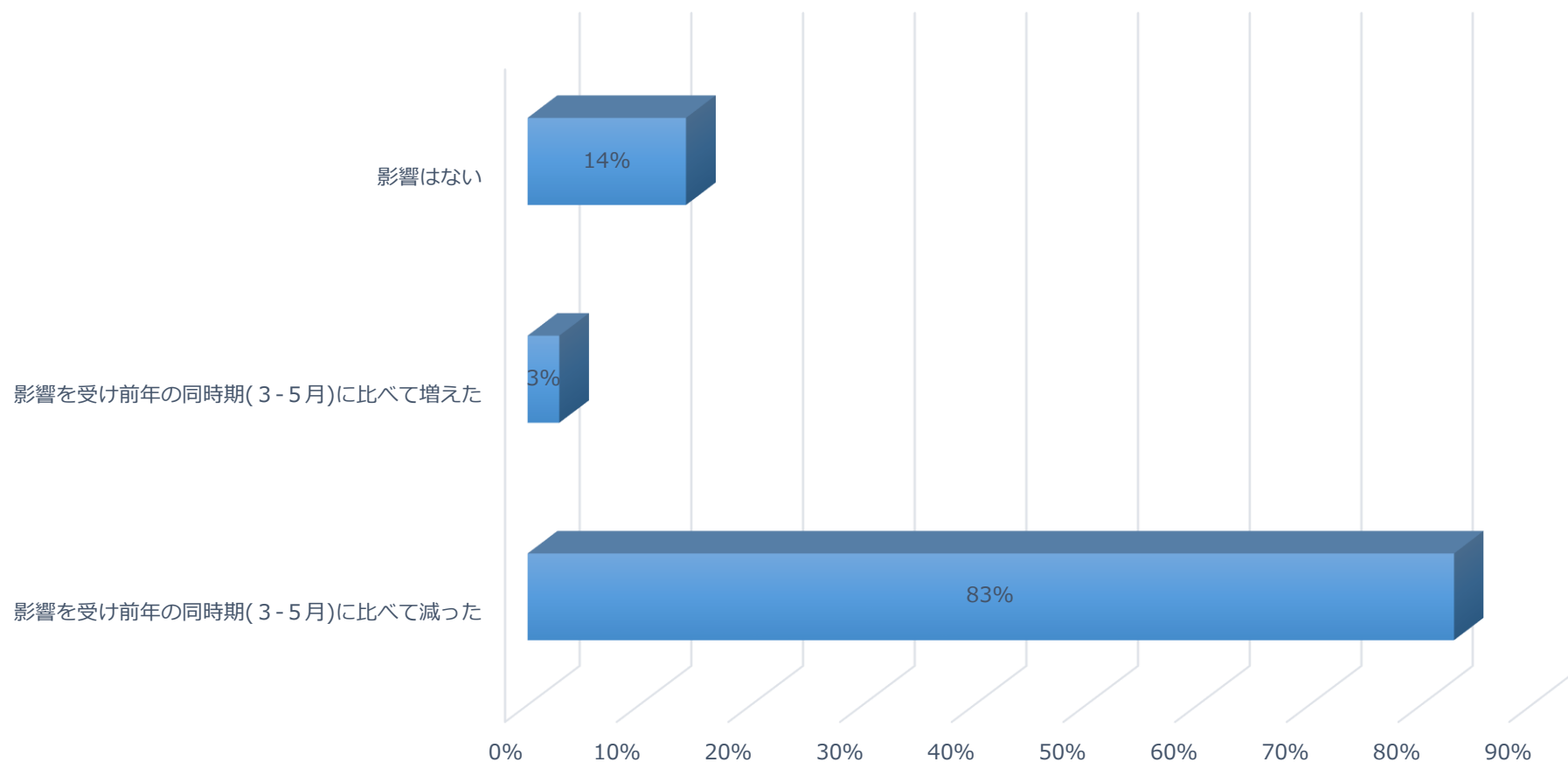


Q7-2 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。

- ▶取引先の再開
- ▶授産製品のインターネット販売
- ▶障害団体はいくつかあるので、地域に根差して就労支援に特化した情報提供
- ▶職員は、利用者の感染防止対策と製造で忙しく、売りに行くにも、手が回らない。製品を仕入れていただける方が欲しい。
- ▶大中小問わず、販売や下請けのような企業とのつながりを一緒に考えてもらえるとうれしいです。
- ▶大変申し訳ありませんが、どのような支援をしていただけるのかを把握しておりませんので、特に要望はありません。
- ▶1つしか選択できなかった

Q7-3 授産収入について、前年の同時期（3-5月）に比べ、以下の選択肢の中から最も近いものを1つ線んでください。

- ▶影響はない（20）14%
- ▶影響を受け前年の同時期（3-5月）に比べて増えた（4）3%
- ▶影響を受け前年の同時期（3-5月）に比べて減った（117）83%



Q7-4 前問の収入に関する設問で「②影響を受け前年の同時期に比べて増えた」を回答された場合のみ、増加分は約%かお教えてください。

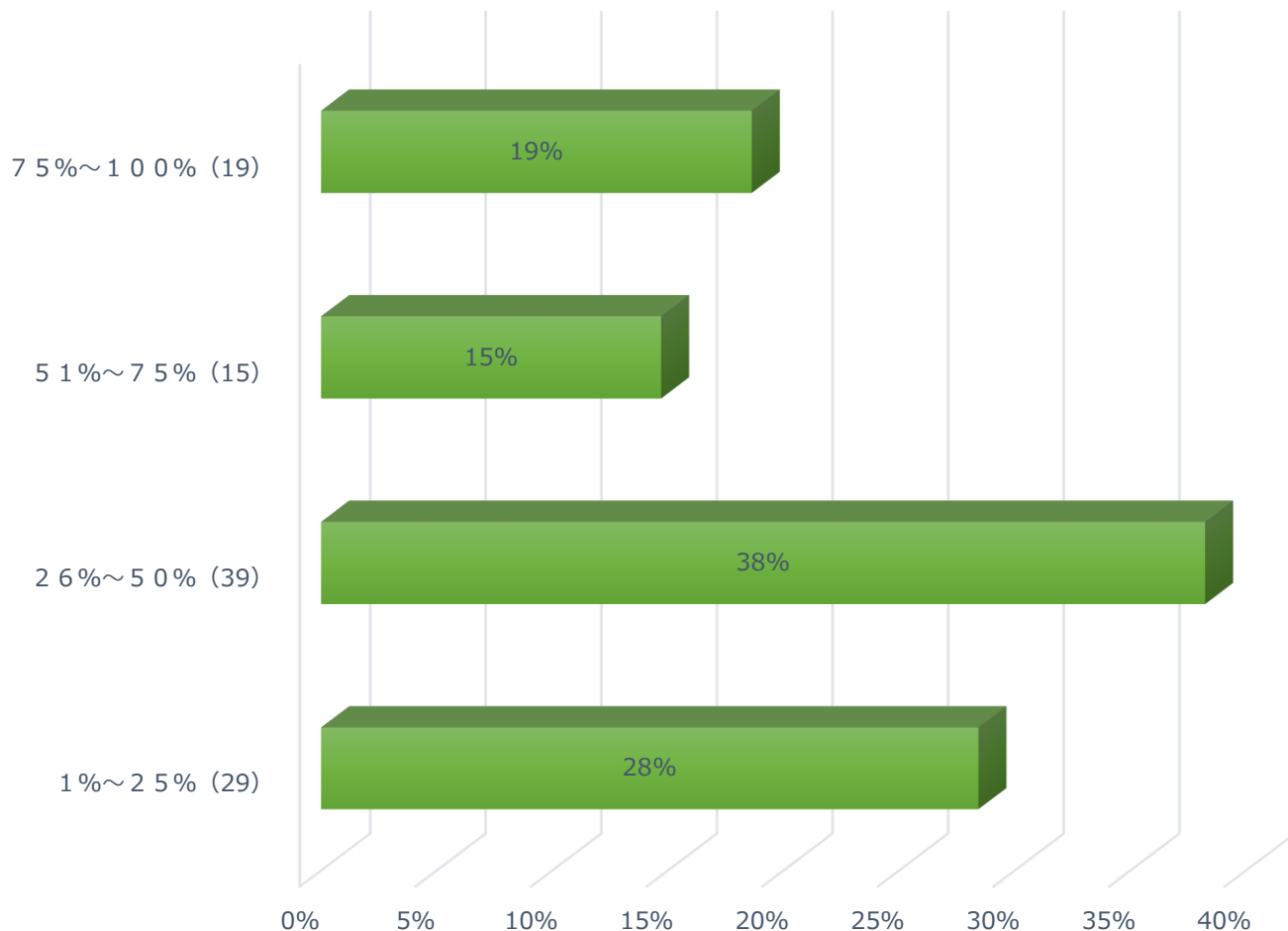
- ▶20%
- ▶120%
- ▶200%
- ▶400%

Q7-5 設問Q7-3で「②影響を受け前年の同時期に比べて増えた」を回答された場合のみその理由をこちらにご記入ください。

- ▶3月のトイレトーパー不足に伴い、全国から新規の注文を大量にいただいた。一方で、5月に入ってから、企業が動いていないことを受けて、例年に比べ注文は少なかった。トータルでは、昨対プラスという状況です。
- ▶マスクのみの売りが上がった
- ▶去年1月から事業開始したため
- ▶手作りマスクの注文が増えた

**Q7-6 設問Q7-3の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期に比べて減った」を回答された場合のみ
減少分は約%か教えてください。**

5% (3)	3%
8% (1)	1%
10% (2)	2%
14% (1)	1%
15% (1)	1%
16% (1)	1%
20% (1)	1%
20% (15)	15%
22% (3)	3%
25% (1)	1%
30% (14)	14%
34% (1)	1%
40% (6)	6%
46% (1)	1%
47% (2)	2%
50% (15)	15%
55% (1)	1%
57% (1)	1%
60% (4)	4%
70% (9)	9%
80% (10)	10%
86% (2)	2%
90% (2)	2%
92% (1)	1%
95% (1)	1%
100% (3)	3%



Q7-7 設問Q7-3の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期に比べて減った」を回答された場合のみ、その理由をこちらにご記入ください。

- ▶100円ショップ製品の下請け作業受注量の減少。
- ▶5月分の売上がまだわからないため詳しい%はわからないが、内職の受注や販売場の激減のため
- ▶6月からは通常に戻る予定ですが、これまで利用者や職員が少なかったことから、今後の収入に影響が出ると思われます。
- ▶イベントが中止となり、ノベルティの受注がほぼゼロになった
- ▶イベントの中止
- ▶イベントの中止、販売先の休業
- ▶イベントの中止と受託している作業の供給が停止。
- ▶イベントや店舗営業が減少した為
- ▶イベント中止などで販売機会がなくなった。
- ▶イベント中止の影響が大きい
- ▶イベント等の中止により授産品を販売できなかった
- ▶イベント等中止で販売出来なかった為
- ▶お店を休業している
- ▶お弁当を届けている高齢者施設の閉鎖、休館
- ▶お弁当販売及びカフェを経営しているが、カフェを期間中閉鎖したのとお弁当の注文数が減少した為。
- ▶カフェの営業の停止にともない、約2か月分の収入がまるまるなくなったこと。焼き菓子の訪問販売、イベント販売ができないこと。▶カフェ店舗の営業自粛・外部販売の中止
- ▶コロナウイルス感染症に伴い、内職の受注減と弁当販売の休止を実施したため
- ▶コロナ禍で受注の減少
- ▶ショップが閉店したため
- ▶バザーの予定がすべて中止となったため
- ▶バザー等販売イベントの中止、施設外作業の中止、受注作業の減少など
- ▶パン販売先の販売中止、縮小（注文販売のみなど）。作業資材の提供停止。
- ▶リサイクル作業の売値単価が下落したから。
- ▶レストランの自粛、納品先の休校、イベントの中止、外部の自粛により影響大
- ▶委託作業していたお菓子の注文を中止した。その為、月に15万ほど減収そのしている。
- ▶一定期間、店舗を休業したため
- ▶飲食店をやっているの、また、イベントが全くできないので
- ▶飲食店舗の来店者数激減、キッチンカーの稼働が一切なくなる
- ▶卸先が休業となり受注がゼロ

Q7-7 設問Q7-3の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期に比べて減った」を回答された場合のみ、その理由をこちらにご記入ください。

- ▶外部の人の出入りがある仕事。通所者が沢山いることで成り立っている仕事。相手先もコロナの影響をうけている。など受注量が減った（減らした）ため
- ▶外部への販売が全てなくなり、一部の委託販売先が休業されていることから、製造（販売）数が大幅に減少したため。
- ▶学校、幼稚園 老人ホームから販売に来ないでと言われた
- ▶観光客がいないので。販売店が休業しているので。
- ▶観光客の減少による、地元産菓子箱折の減少とホテル休暇による施設外就労の減少
- ▶喫茶店の営業を休止したため
- ▶給食を提供しているが、契約事業所がコロナの関係で休所になり、提供食数が減ったため
- ▶緊急事態宣言で年1回のイベントと企業にパンの販売"
- ▶古物営業事業の中止が最たる要因と考えられる。
- ▶公共施設の閉館。企業での販売中止。イベントの中止。
- ▶行政施設の閉鎖により、行政からの受託事業や施設内の喫茶店も閉鎖したため
- ▶昨年度と比較して授産製品の請負が増えたため、増えてはいるが、資材の一部が中国のものだったり、イベント用の食品袋が生産中止となり、数か月の間では減った。
- ▶仕事の減少
- ▶施設外で行っている作業が休止、企業の工場休止で作業の受注が激減など
- ▶施設外就労の一部が出来なくなった
- ▶施設外就労先の自粛はじめ授産製品販売機会の喪失による稼働率減少
- ▶事業内容の変更（米菓事業終了）に伴い、現在、下請け事業が主な事業となっている
- ▶自主製品の受注数、販路の減少
- ▶自主製品の食品（製菓）販売の機会がすべてなくなったため
- ▶自粛ムードにより工賃収入の一部は維持できる部門もあったが、大半が減ってしまったため
- ▶主な収入源が製造したクッキーの販売であり、影響を受け売上げが大幅に下がったため
- ▶取引先のほとんどが、5月いっぱい休業したため
- ▶取引先の休業や閉店、客足の減少で売り上げ・製造量が減った
- ▶取引先の多くが休業したため
- ▶取引先の注文減少、イベント中止など。
- ▶受託作業と施設外就労の減少
- ▶受注の減少、販売会の中止、掃除業務の中止
- ▶受注作業の減量、利用者通所の自粛による作業人数の減少

Q7-7 設問Q7-3の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期に比べて減った」を回答された場合のみ、その理由をこちらにご記入ください。

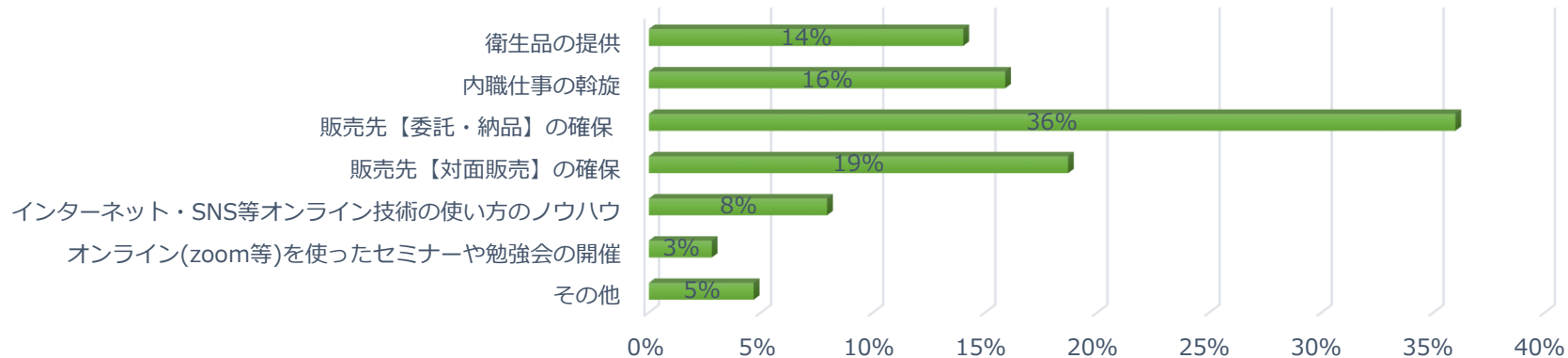
- ▶授産活動の停止、下請けや内職の仕事量の減少と停止
- ▶授産販売自体が少ないのでそこまでの影響はないが、販売先の一つであったイベントが中止になったので減少。
- ▶集客減
- ▶常設店が無く出張販売のみだったので全く販売活動ができなかった。
- ▶清掃部門はどの請負先からも「今後も続けてください。加えて消毒作業をお願いしたい」という回答が多く、継続してきました。
- ▶菓子製造部門が軒並み、イベントの延期や中止、旅館や大学、店舗へ卸していたものもすべてなくなり、およそ半減しました。
- ▶生産力低下による受注をうけられないによる事やバザーなどが中止になった為
- ▶製菓や食関係の販売の自粛休みに伴う売り上げの減少。内職系は比較的減少は見られない。
- ▶製菓販売の機会がなくなった（販売先の臨時休業、イベント中止）
- ▶製品受注の減少
- ▶全てのイベント、販売会が無くなった為
- ▶対面での販売ができなくなった
- ▶地域イベント用粗品の受注がなくなったり、学童保育向けの商品展開が縮小した。対面販売の機会がなくなった。
- ▶注文、店舗販売、外販等の減少、下請けの仕事の減少
- ▶店内飲食の大幅減・周年祭の中止・移動販売の中止
- ▶特に食品関係の販売先が激減したことによる。
- ▶内職の仕事の減少があった。販売店舗を休業したため、授産製品の販売ができなかった。
- ▶内職の受注量が減った為
- ▶内職やテープ起こしの受注がストップしている為
- ▶内職作業が減ったため
- ▶納品先店舗の休業 出張販売の自粛 自施設店舗への来客減
- ▶販売が減った
- ▶販売会、イベントが中止になったため
- ▶販売会の中止など
- ▶販売会も含めて民間からの受注が減った。
- ▶販売活動ができない
- ▶販売機会の減少
- ▶販売自粛のため。
- ▶販売取扱い店の営業休止、直販（販売）イベントの減少

Q7-7 設問Q7-3の収入に関する設問で「③影響を受け前年の同時期に比べて減った」を回答された場合のみ、その理由をこちらにご記入ください。

- ▶ 販売場所の減少（全減）、注文の減少
- ▶ 販売先・受注先の自粛減少。
- ▶ 販売先が中止やイベント中止に伴い
- ▶ 販売先に休業や時間短縮が出て売上減となった
- ▶ 販売先の減少
- ▶ 販売先の減少。自主製品に関わる利用者のが在宅支援となっていること。
- ▶ 販売先の店舗などが閉店していたため。
- ▶ 販売店舗の休業
- ▶ 販売等の中止のため
- ▶ 物販がなくなったため
- ▶ 弁当事業で作業人員を制限したことで生産量を抑えざるをえなくなった。自主製品の販売先であったイベントがなくなった。
- ▶ 木工部門の委託販売で注文の減少により影響を受けている。
- ▶ 利用者の利用自粛による通所日数の減少
- ▶ 旅館・ホテルのタオル加工販売75%減少減額

Q8-1 設問Q7-1でもお聞きしましたが、売上等の減少の影響を受け、より緊急(~3ヶ月以内)に必要とされているものがありましたら教えてください。

衛生品の提供 (30) 14%
内職仕事の斡旋 (34) 16%
販売先【委託・納品】の確保 (77) 36%
販売先【対面販売】の確保 (40) 19%
インターネット・SNS等オンライン技術の使い方のノウハウ (17) 8%
オンライン(zoom等)を使ったセミナーや勉強会の開催 (6) 3%
その他 (10) 5%

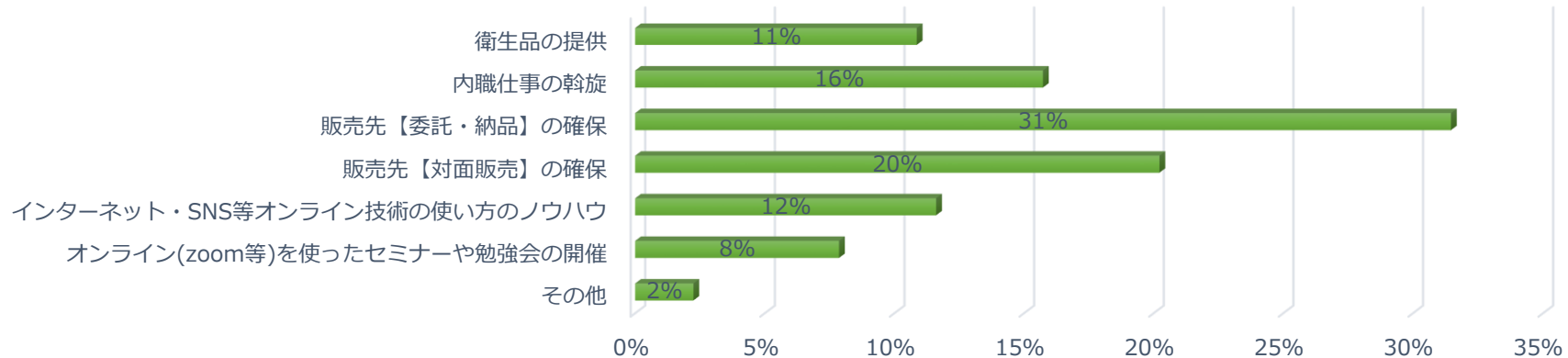


Q8-2 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。 必要な支援等が具体的にある場合はこちらにご記入ください。

- ▶zoomを使った事業所を超えた作業のアイデア会議の開催
- ▶オンラインを使った助成金活用の事例などの情報共有。
- ▶安心して販売できる仕組み作りを教えてください
- ▶何をどうして良いのか、全く見当がつかない。みんなで悩んでいるところです。
- ▶古物営業事業の再開。
- ▶今後の見通し。
- ▶手元資金の確保
- ▶生産活動がペースダウンしている。利用者の人員も揃っていない。
- ▶売上の確保。製品を納入できる先がほしい。

Q9-1 設問Q7-1でもお聞きしましたが、今回のコロナを受け、事業所として今後検討していきたいものがありましたら教えてください。

衛生品の提供 (29) 11%
内職仕事の斡旋 (42) 16%
販売先【委託・納品】の確保 (84) 31%
販売先【対面販売】の確保 (54) 20%
インターネット・SNS等オンライン技術の使い方のノウハウ (31) 12%
オンライン(zoom等)を使ったセミナーや勉強会の開催 (21) 8%
その他 (6) 2%



Q9-2 上記でその他と答えた方はこちらにご記入ください。 必要な支援等が具体的にある場合はこちらにご記入ください。

- ▶ コロナ関連グッズの考案
- ▶ とにかく、売上げが見込める仕入れ先が欲しい。
- ▶ ネット上などでの販売イベントなど
- ▶ ネット販売でのノウハウ
- ▶ 安心して販売できるインターネット販売の方法
- ▶ 現在就労継続支援 A 型を運営しているが、B 型や生活介護などへの移行も考えている。
- ▶ 椎茸を活用した低価格商品を企画したい

Q10 事業所の状況や行っている対策、困っている事、具体的に行ってほしい要望など、なんでもご記入ください。

- ▶利用者、家族に感染者が出た場合の感染拡大防止、感染者の隔離や治療体制の確立・報酬や加算の柔軟運用では不十分、前年並みの収入確保できる仕組みが必要・イベント自粛要請により、販売の場所や機会を失っている。減収は利用者の工賃減に直結する。工賃水準を担保するため、生産活動等の損失を補填するなど策を講じてほしい。
- ▶6月から少しずつ稼働していますがまだまだ以前のように生産率が上がってきていません。今後工賃を支払う事が難しくなってくると思われますので利用者の方が出来るお仕事があれば情報をいただけると助かります。よろしくお願いたします。
- ▶イベントが中止になったので販売の機会が無くなった。再開にしても安全確保など課題は多いと考えている。
- ▶ここにきて、少しずつ感染者数も少なくなってきましたが、法人内、特にGHの入居者（身寄りのない人）などで感染者が出た場合、国も具体的な指針やマニュアルを示しておらず、どのように対応するのかについて、たくさん議論をしてきました。（具体的に対応に追われる法人もありました）ご家庭でも対応が難しいところも多く、どこまで職員が対応しなければいけないだろうかと不安な日々が続きました。一方で利用者、家族の意向は「家にいても大変。作業所に通わせてほしい」という意見が圧倒的に多く、当福祉会は閉所することなく、開所を続けてきました。あらためて作業所が働く場だけでなく大切な社会との接点、仲間と集える場、安心できる場であることを感じました。
- ▶当事業所所では、アマビ工缶バッチを作成し、InstagramなどでPRを行い売上に繋がればと考えている。全国の福祉事業所の救済処置として、商品を購入して頂く事で支援に繋がる事をPRでき販売集約できるサイトがあれば良いと思う。
- ▶これまでパン販売のほとんどを対面販売で行ってきたが、今後販売に行く時職員も不特定多数のところにいくので感染しないか、不安がある。
- ▶コロナウィルス感染拡大防止対策において、授産事業を縮小せざるを得ない（収入・活動）中3密を避ける形で収入を維持・確保していける内容の検討と、今後の事業についての見直しを行っていくことを考えている（仲間の高工賃を目指していくうえでの内容検討etc…）
- ▶コロナの影響で仕事が減り、終息後も元に戻る保障がない為、新規の仕事確保が急務となっています。
- ▶コロナ自粛は今後も続くと思われるため、法人内の特売を増やしたり、近隣地域への宅配販売を始めている。
- ▶衛生品が購入できないため、在庫がなくなれば授産を休止することがあるかもしれない。
- ▶何とかして、感染者を出さないように、衛生管理に力を入れています。
- ▶感染症対策を実施しながらの事業運営（生産活動含む）の仕方について直近で困ることは、授産収入の確保と安全な通所人数とのバランス
- ▶換気、手指消毒、マスク着用
- ▶衛生商品（使い捨て手袋、アルコール消毒、ウェットティッシュ等）が今ある在庫のみで、なかなか買えない。ドラッグストアに少しずつ出回ってきているが、個数制限があるのでその量では足りない。昼食時が一番困っていて、マスクを外すし、食事介助もつかなきゃいけないし、みんなを間隔を開けて座らせると、職員が目が届かなくなる、、、という現状。

Q10 事業所の状況や行っている対策、困っている事、具体的に行ってほしい要望など、なんでもご記入ください。

- ▶ チャレンジドふれあいフェスティバルのような販売会を開催していただけると嬉しいです。アンケートの回答、遅くなり申し訳ありません。少しでも力になれると幸いです。よろしくお願ひ致します。
- ▶ パンの対面販売で工賃を得ていましたが、すべて中止となり、収入が減っています。利用者さんの作業も内職だけです。今後、今迄通りの販売は難しいのでは・・・と思っています。"
- ▶ ホームページなどを利用しての、通信販売を始めようとしている。
- ▶ マスクや消毒液などの衛生品の不足・高騰
- ▶ 委託手数料が負担とならない販売委託先が欲しいです。
- ▶ 委託販売先の確保
- ▶ 衛生用品の不足が困っている。特に消毒液。また、感染者が施設利用中に発症した場合の対応とその後の対応。
- ▶ 感染リスクを軽減するため、三密を避けるために通所自粛をお願いした。また罹患した場合生死の危険が伴う利用者の割合が高く、自粛せざるを得ない状況にもなった。利用者家族からの不安の声も多く、結果的に半数近くが自粛したことで事業収入が大きく落ち込んだ。就Bの利用者は自宅での内職等を設定するよう指導されたが、できるわけがなく、その人達の欠勤分はまるまる赤字となった。また生活介護も複数の職員が勤務自粛を申し出ていたこともあって体制上自宅を訪問しての支援もできないことが多く、収入に大きく響いた。福祉関係は持続化給付金制度が活用できず（もちろん活用できたとしても雀の涙程度だが）、何の補償もないのが腹立たしい。授産収入においても作業に従事する利用者数が自粛のため半減していたことで作業を止めざるをえなかったため減少した。イベントも中止になり販売先が減少。その影響がまだまだ続く見込みで、利用者の給料額を見直す必要も出てきた。
- ▶ 企業の在宅勤務が解除され無ければ売上げは下がるばかり
- ▶ 既存の内職への依存体質脱却のため、保有しているプリンターを使った商品の開発を行っている。この商品についての販路の確保を一番の課題として考えています。
- ▶ 教育も働き方も、変わっていくのだから、福祉制度も変えて欲しい。
- ▶ 緊急事態宣言は解除されたが、今後団体の利用者は減少になると予測されるので、オンラインで発信したり、助成金なども検討していきたい。NPO法人運営の家賃などの補助を対象として、助成金情報などの提供や、クラウドファンディングの情報などをもシェアしていただければ助かります。"
- ▶ 具体的には優先調達法の促進や、その他一般企業へもそれに類する制度の確立など。給食の原材料を一元で販売するようなサイトを作成し、各事業所の注文を受けたりできるような仕組みを構築して頂けると助かります。"
- ▶ 厚生労働省は、就労だけ限定しているが、なぜ限定するのでしょうか？工賃を支払っているのは、就労施設だけでは無いで区別するのはおかしくないでしょうか？
- ▶ 今すぐではないのですが、特に(製菓)部門では、労働設定や仕事の仕組み工夫、企業等とのつながりなど、見直したいところが多いのでお力を貸していただけると嬉しいです。

Q10 事業所の状況や行っている対策、困っている事、具体的に行ってほしい要望など、なんでもご記入ください。

- ▶ 今回の様に、他事業所様がどのような対策を取っているのかなど情報共有が出来たらよいと考えております。
- ▶ 今回は事業的な収入より命を優先した。再度コロナ感染が広がった時も自宅待機等の対策が必要と思うが、利用者さん達のメンタル的にも、運営の体力的にも同じ対策が取れるかが悩みどころ。また、全国民が弱者的立場になると、途端に障がい者の事が話題から外れていくことが、震災以来変わってないな～、と思い残念だった。
- ▶ 作業がない時の学習に使う教材やメソッドで、安価で良いものがあれば教えていただきたい。
- ▶ 作業減につき利用者様への作業斡旋を国及び府市に検討してもらいたい。
- ▶ 作業所の消毒、利用者の体調管理などをするにあたりアルコールやマスク、手袋、体温計の不足が一番の問題。品物があっても高値で費用がかかるなど。
- ▶ 仕事の激減。就労支援なので、仕事の確保はしたいし、給料にもつなげたい。また、利用者ボーナスも何とか確保したいが、現状では難しい。
- ▶ 事業継続の為に金銭面の助成金など検討中
- ▶ 取り合えず、元気です。マスクもあります、元気があれば何でもやれる
- ▶ 受託していた内職が減り、利用者さんへ提供してきた作業が60～70%無くなり困っています。
- ▶ 授産収入については5月に完全に受注がストップしたので、これから影響をうけて減少すると思われる。また、利用者の中に環境が変わったことで、生活リズムが崩れておられる方々がいる。我慢をしてもらっている状況。
- ▶ 消毒用アルコールの不足、購入先の情報提供。
- ▶ 職員の募集をしてるが、応募がない（欠員を埋められていない）事業所のスペースが限られたなかでの、三密を防ぐ対策をすすめるににくい役務的な作業が多いなか、この間利用者さんの体力が落ち、作業に対応できるか、熱中症の心配が昨年より大きい総合的には就労継続支援B型として工賃向上の取り組みをしているが、今年に関しては工賃どころではない状況 しかし工賃が下がれば助成金に影響があり、今年に限っては工賃が下がっても助成金に影響がないようにしてほしい
- ▶ 新型コロナの予防接種・改善薬等ができない限り、安心して実践できる見通しがなかなか困難
- ▶ 対策としては、作業フロアごとの活動を徹底し、事業所内でも交流をしなくて済むようにしている。食堂の椅子を間引き密接を避ける。玄関と各作業室に手指消毒器を設置し、職員が率先してマスクの着用をすることで、利用者もマネしてやってくれている。今後、自粛協力で、お休みされている利用者の方が、出勤するようになった時にクラスター感染や、不調者が出てくるのが予想される。また、製菓の製造・販売などの業務が再開した時に、注文をインターネットで取れるようにしていきたい。
- ▶ 都心部への売り込みを拡大したいが、送料負担分が大きい。なにかうまく送料を減免できる方法がないか？

Q10 事業所の状況や行っている対策、困っている事、具体的に行ってほしい要望など、なんでもご記入ください。

- ▶当施設の利用者は盲ろう者なので、社会的距離を取ることができません。また盲ろう者の活動には通訳介助者の同行が必要なので、サービスの提供が感染につながる恐れがあります。それでも利用者の生活を守るため、事業を止める訳には行きません。もし、事業所内で感染が起こった場合、どうすればいいのか、喫緊の課題です。
- ▶当事業所では、緊急事態宣言の発令後の4月8日から5月末までの期間、感染対策のため利用者をグループ分けして半数ずつの利用にし、またできるかぎりの登所自粛を各利用者にお願ひしました。利用者やご家族にご協力いただき、事業所の密集度を減らすことが出来ましたが、事業所としての活動は大幅に減少してしまい、そのことによる収入減の影響が心配されます。感染対策を続けながら、利用者のお給料をどう保証していくのか、難しい課題との戦いになります。
- ▶定期的開催されていた地元でのイベントが秋までは開催されないことが決定されたり、一番収入を見込めるイベントの中止が決定され、工賃の維持が課題となっています。マスクやアルコールなどは市場にも出回ってきておりますが、現在は使い捨て手袋が不足しており、また今後も何かが入手困難になるのではないかと心配しております。販売先の提案やコロナウイルスに関する情報、他の施設がどのような対策を行っておられるのか（ウイルス対策だけでなく、収入減に対してなど）の情報などを提供していただくと大変ありがたいです。
- ▶販売できる場所を提供してほしい！！
- ▶販売会等イベントの企画・再開、商品製造や新商品開発への資材・資金等の寄付や運営支援
- ▶販売活動ができないので、『買ってボランティア運動』のような家に居ながら買い物してもらえたら。
- ▶販売機会が減ったので、毎週土曜日事業所の前にテントを出して他の事業所と合同で「福の市」と名付けて販売会をしています。そもそも何をどうしていったらいいのかが、わからない。私たちの活動の原点は、障害があっても街に出よう！ステイホームも、ソーシャルディスタンスも似合わない。震災の時、普通の日常が戻った来た時がうれしかった。できるだけ普通に活動できるようにしています。
- ▶販売系統がすべて中止になり授産製品の売上げが減額。
- ▶販売先の確保が必要である。とにかく販売できる場所には声をかけている状態である。
- ▶密を避けるために可能な限りの措置は講じているが、元々、狭い空間で支援を行っていたため限度があります。公共の場所の早期開放を行っていただき、優先的に内職作業の場所を確保して、利用者が密にならない空間を確保していきたい。
- ▶利用者の通所自粛に対する居宅での代替えサービスの内容や基準が各自治体で統一されておらず、ハードルが高い。また、売上の減少（福祉サービス事業及び生産活動）を補償できる制度が望ましい。
- ▶利用者の方の感染対策にも気をつかい、売り上げのことも考えなければならないので、国で保障してほしい。売り上げについては、休校分の補填を行ってほしい。レストランについては、日中のみの営業であった為、自粛をしても夜間の飲食店の自粛の補助金の対象外となり、補助金もない。

Q10 事業所の状況や行っている対策、困っている事、具体的に行ってほしい要望など、なんでもご記入ください。

- ▶利用者工賃の減少に対する行政の補助が必要である。
- ▶利用者数が昨年より増えたので、去年同期より福祉事業の収入、授産収入は増えており、単純な比較はできない。が、コロナが怖いからしばらく休むとか、長いGWのインターバルにレクリエーションを入れられなかったとか、小さな福祉事業の減収はあった。コロナ以外の理由で減った仕事が大きく痛手となったままコロナ騒ぎに突入したが、コロナの影響で仕事を減らされた得意先はなかった。しかしながら、利用時間の短縮などが影響し、納品数は減ったため授産収入も減収となった。コロナ騒ぎが本格化する前にあった問い合わせ6～7件のうち3件は見学から体験、契約に繋がったが、契約日まで決まっていながら公共交通機関を利用するのが危険な疾患を持った方の契約が取りやめになったことや、問い合わせからのつながりができないものが3件ほどあり、新規利用者獲得へつながらなかったことが最も痛手である。現在フルタイム利用の人が少なく、授産収入が伸びないうえに利用日数が少ない人が平均工賃を大幅に引き下げてしまうため苦慮している。クラウドワークスなどでパソコンでできる仕事をとり、将来的にパソコンのできる使用者の獲得につなげていきたいと思っているが、なかなか時間もとれず、ノウハウがわからないので足踏み状態である。事業所の紹介とオリジナルの本革製品の紹介を兼ねてFacebookもやっていたが、毎日の管理もできないのでアカウントは削除した。できればYouTubeでオリジナル本革製品の紹介などをやっていきたいと思っているが、これまたノウハウがわからない。
- ▶厨房でパンと洋菓子の製造をしているので、3密の状態になりやすい仕事をしています。5月23日までの約1か月間、1日に通所される利用者の数を半減させ、出来るだけ人の密集を生み出さないようにしながら運営してきました。今日（5月25日）から通常営業に戻しましたが、自宅を出ることでコロナウィルスに感染するリスクが増加することを恐れて、一人の利用者が退所を希望されました。約1か月もの間、通所のペースが週1～2回になったことで、その通所ペースに慣れてしまい、以前は週3日以上通所していた方がきちんと前と同じ通所ペースに戻すことが出来るのか、怪しい方もいます。緊急事態宣言が解除されても、利用者の毎月の延べ人数が減り、法人としての収入が減りそうです。事業所の売上の約6割が外販での売上でした。それがほぼ無くなってしまったことで、利用者への工賃が減少しています。今後は、外販による対面販売を嫌う販売先も増えると予想されます。これを期に納品を主とした販売形態に変えることが出来ると、商品の売れ残りが減り、結果として支出を減少させることにつながると考えています。インターネットを使った販売も昨年末から少しずつ試していますが、まだ本格的にははじめられていません。もし、食品のネット通販のノウハウなどを聞くことが出来たり、ホームページ作成を安心して委託できる業者の紹介などがあれば、教えてもらえるとありがたいかもしれません。

まとめ

この度、当法人としては初めて、関係する福祉事業所へ呼びかけてのアンケートを執り行いました。不慣れなアンケートで不備や回答しづらい点があったにも関わらず、多くの事業所より回答を頂くことが出来たこと感謝し御礼申し上げます。

皆さまからの回答を基に集計した結果、下記課題を抽出し関係機関と共有、今後の支援に活用したいと考えています。

1. 利用者の収入の減少

販売機会・内職作業の減少
収入が減り、工賃の支払いへの影響
仕事が減少したことに伴う、利用者への支援方法の変更

2. 事業所の収入の減少

通所規制や自粛により訓練等給付費収入などの減少
出口の見えない状況で事業所の経営状況の悪化
在宅支援の増加

3. 新しい生活様式の中での支援のあり方

利用者の困惑や支援スタッフのメンタル的な負担の増加
衛生品等の負担増
福祉現場におけるICT・IOTの可能性について

新型コロナウイルスは、この先も長い期間、全国の障害者福祉事業所になんらかの影響を及ぼしていくことを改めて感じました。皆さまと一緒にになって課題解決に取り組み、トウギャザーとして出来る支援をご提案し失敗を恐れずにチャレンジを続けていきます。今後とも、何かありましたらお気軽にご連絡下さい。

制作・編集

特定非営利活動法人トウギャザー

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中3-9-1 難波ビルディング403

TEL: 06-6646-3380 FAX: 06-6634-812 MAIL: together@k4.dion.ne.jp

HOME: <http://www.together.or.jp/> SHOP: <https://tot.shop-pro.jp/>